

令和8年2月18日

三河教育研究会 社会部会

## これからの中河の社会科教育への期待 ～ 中河の教育を、社会部会が創る ～

西尾市立吉良中学校 兼子 明

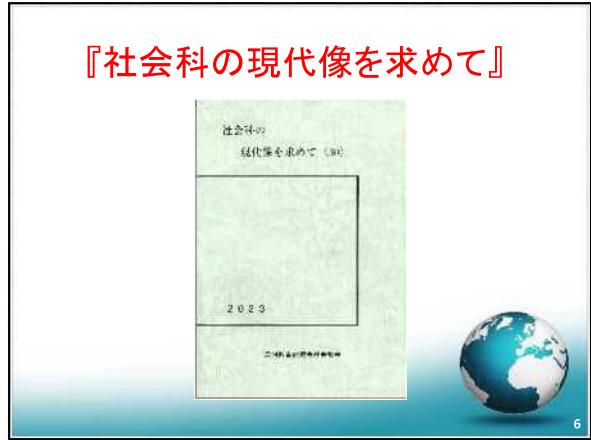
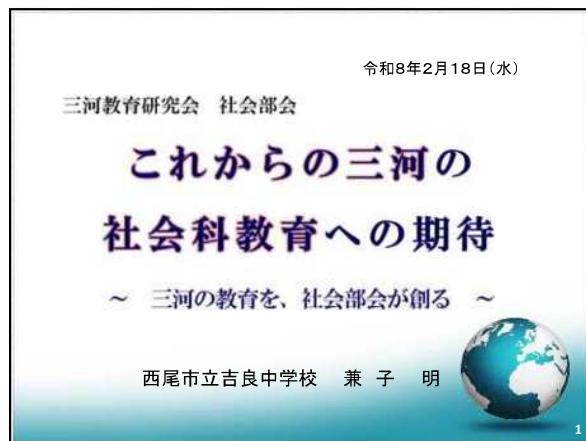
1 はじめに

2 社会部会の強み

3 拙い実践からの気づき

4 次代の創り手に向けたエール

5 おわりに



戦後( X )年、社会科ほど幾多の変遷を経てきたものはないだろう。それだけに問題は山積みされ、多くの教師が、この中で悶え苦しんできたといえよう。

※『社会科の現代像を求めて』から一部抜粋

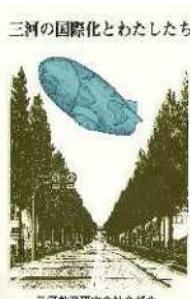
7

## 他の出版物



8

## 他の出版物



9

【 A 】型の



【 B 】な実践力



10



11

« 強み I »

## 地域教材の活用力

→ 三河独自の産業や歴史等を活かした「生きた教材」の開発



12

« 強みⅡ »

## 現役教師の連帯感

- 現場の先生方が主体となり、即戦力の学習指導案を共有



13

« 強みⅢ »

## 主体的な学びの追究

- 児童生徒が社会を自分事として考える学びのデザイン



14

## 3 拙い実践 からの気づき



15

### 小学校

- 4年生:「安全なくらし」  
→ 消防車の配置のシミュレーション
- 5年生:「わたしたちのくらしと水産業」  
→ 地域の養鰻業から考える日本の現状
- 6年生:「江戸時代」  
→ 農民に出された御触書の活用



16

### 中学校

- 歴史的分野:「古代までの日本」  
→ 三河地方の古墳見学の位置づけ
- 地理的分野:「わたしたちの住む愛知」  
→ 「愛・地球博」を通して考える愛知の特色
- 公民的分野:「人権を考える」  
→ サッカーボールと児童労働との関係



17

### 学習指導案 検索

~三河の魅力的な実践はココ♪~



三教研



18

## 社会科の基本は…

- ◆ どうなる？ & どうする?  
【】の形成 【】の育成
- ◆ わける、つなげる、ととのえる  
【分類】 【結合】 【整理】

19

## すぐれた授業実践は…

- 総合化・教科等横断化
- 手だての【】化
- 学びのスロープ



20

## 「子ども研究」の視点から

- (1) 「まず子どもありき」のスタンスで
- (2) 単元をくぐり抜けた後の  
**子どもの育ち**を明確に
- (3) **学びにのめりこむ姿**の表出を



21

## 「教材研究」の視点から

- ① **弾力性**のある単元構想で
- ② **独自性**にあふれる教材開発が
- ③ **現実性**が感じられる学習展開に

“FORの原則”を参考に



22

## ② 独自性にあふれる教材開発



23

## 自身の「授業観」を問い直す



24

## 4 次代の創り手 に向けたエール



25

優れた実践者である  
三河の先輩から



26

### 次代の社会科の要諦

- ✓ 問いを立てる力を育む
- ✓ 学びの二季化を防ぐ
- ✓ わからなさを生かす



27

## 5 おわりに



28

### はじめに子どもありき

学習者の



三教研の



第17期の研究へ

29

社会部会が、



三河教育の



次代を創る



30